

○議長（茅沼隆文）

日程第4 議案第48号 平成27年度開成町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。予算書の説明を順次担当課長に求めます。

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

それでは、1ページをお開きください。

議案第48号 平成27年度開成町一般会計補正予算（第2号）。

平成27年度開成町の一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

歳出予算の補正。第1条、歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第1表 岁出予算補正」による。

平成27年7月24日提出、開成町長、府川裕一。

次のページをお開きください。第1表、歳出予算補正になります。第2款総務費及び第13款予備費につきまして、予算補正をするものです。

それでは、補正予算の詳細を歳出予算事項別明細書によりご説明をいたします。

6ページ、7ページをお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

6ページをお願いいたします。3の歳出です。2款総務費、1項総務管理費、7目交通安全対策費、説明欄は1でございます。自転車安全対策事業費、交通安全子ども自転車全国大会参加費補助金21万9,000円でございます。今月の7月4日の土曜日に、横浜文化体育館で行われました子ども自転車神奈川県大会に出場した開成小学校チームが昨年に続いて優勝し、8月5日水曜日に東京ビッグサイトで開催される第50回の交通安全子ども自転車全国大会に出場するため、必要な経費、選手のユニフォーム、あるいは旅費等を足柄上交通安全協会開成支部に支出するための補正を行うものです。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

11目協働推進費、説明欄、コミュニティ施設管理事業費でございます。こちらにつきましては、先ほどお認めいただきました地域集会施設のみなみ自治会館の維持管理に係る経費としまして、電気、ガス、水道の光熱水費、水道開栓の手数料、建物火災の保険料になります。

○財務課長（田中栄之）

13款予備費です。今回の補正による所要額を予備費57万9,000円で調整をいたします。

説明は以上です。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑をどうぞ。

11番、菊川敬人議員。

○11番（菊川敬人）

11番、菊川です。歳出のところでお伺いします。7ページの自転車の安全対策事業費です。全国大会に出場するということで、今回21万9,000円を計上されているわけですが、去年に引き続いての全国大会出場ということで、去年同等の予算額を計上されたと思うのですが、2年連続で全国大会に出るということで、かなり神奈川県においても開成町は注目されたチームだったと思うんです。それでまた全国大会に出場するわけなのですが、金額的に去年と同等金額ということになっていますけれども、予算的にタイトではないかなという気がするんですが、実際に21万9,000円ぐらいで、余裕はないとは思うのですが、これぐらいの金額で果たしていいのかどうか。私は個人的に、もう少しつけてもいいのかなという感じがいたしますので、1点確認したいということと。

次のコミュニティ施設に関しては、議案第46号とリンクするわけでありますけれども、牛島自治会さんにお願いして4ブロックに分けて、みなみの班分け、区分けすることになっていますが、先ほどの質問の中でも、使用頻度は非常に少ないだろうという回答がありまして、私もそうではないかなという気がいたしました。

そこで、光熱費はここで計上されているわけでありますけれども、光熱費等においては、ほとんど基本料金等でいけるのではないかという感じが持てるわけであります、せんだって施設を見学したときに、発電装置もありますよ、蓄電装置もありますよということをお伺いいたしまして、この発電したものを蓄電して使うということになれば、その分が緩和されるかなと思うのですが、この発電装置はどのように運営されていくか。蓄電する部分で、実際、どれぐらいの蓄電装置が光熱費に寄与するのか。どう見ておられるか。もう一つは、売電についても考えていかれるのかどうか、お伺いしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

では、菊川議員の最初の子どもの全国大会の予選について、大分タイトではないかというお話をいただきました。ありがとうございます。

2年連続優勝ということは本当に快挙なんですけれども、昨年、6万円ほどかかった懸垂幕、役場庁舎にかけてありますけれども、同等の内容なもので、その部分は開成小学校全国大会祝優勝というようなことで、その部分が6万円ほど浮いていますけれども、実際の問題、東京でやるので、ホテルに前泊させるわけです。その分を全国交通安全協会から関東圏は出さないみたいな話がありまして、実際、県から5万円ほどいただきます。あと昨年は懸垂幕とかユニフォームを町からはつくりましたけれども、その分のカバーをかなり交通指導隊の私費で充てていただいたということがありまして、今回は、足上の補助金で出させていただいて、あとは事業費を精算して、報告するという形でやらせていただきたいと思います。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

それでは、施設の管理の面につきまして、お答えいたします。

確かにおっしゃるとおりのところがございますが、これまでの実績がない中での数字の積み上げになりますので、電気、ガス、水道、施設に風呂等があるわけではないので、給湯ですとか厨房で使う部分でのガス等、あと電気に関しましては、利用者の部分と通常使う施設に係る電気料、そういった部分を施設の概要と、あとほかの自治会で使われている昨年度の状況を見ながら、数字を積み上げたところでございます。そういう意味で、通常自治会で使うのはこのぐらいだろうというところの数字で積み上げたところがございます。また使ってみてというところは、現状わからない中でというところでの積み上げです。

太陽光発電システムでございますが、こちらは災害時の避難場所としても活用できるという意味で、こういう設備もついているというところがございますが、蓄電容量としては4.0キロワットとなっております。使い方としては、いざれは売電等というところもありますけれども、施設の電気に充てていくというところで、そこら辺はまた管理の面で使い方等の調整をしていきたいと思っています。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

菊川議員。

○11番（菊川敬人）

せっかく太陽光システムができていますから、使用頻度は少ないと思いますので、売電できれば、そちらで少しでも管理費が浮くのではないかという感じがいたしますので、今後その点について、ご検討願えたらと思います。

○議長（茅沼隆文）

町民サービス部長。

○町民サービス部長（石井 譲）

全くおっしゃるとおりでございます。今回のこの予算につきましては、途中から指定管理も考えていますので、予算とすればマックスを見ていると。ですから、予算の審議でこういう言い方はどうかと思いますけれども、恐らく足りなくなることは絶対ないと思います。要はマックスで見ているという形の中でご理解いただければ。

また売電は売電で、おっしゃられるとおり、これはきっとして、町の収入なり、指定管理であれば指定管理者の収入になろうかと思いますけども、そういう形でやっていきたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑ございませんか。

前田議員。

○4番（前田せつよ）

4番、前田でございます。今、菊川議員の質問の関連でございます。交通安全子ども自転車全国大会の参加費の件なんですが、今、課長がご説明いただいたように、大会側がいろいろな予算的なものを詰めてきて、一昨年から出さなくなって、昨年は安全協会がその分を補填したということを情報として聞いているところでございます。

また、2年連続全国大会という前には、県大会を平成19年から勝ち超えてのうちの町の存在であるわけで、その県大会も、聞くところによりますと、安全協会の予算的な絡みで、昨年、一昨年と開成小、開成南小の2チームが出場できてきたのが、それも詰めていくところで、1チームしか出られなくなったと、そういう状況下にあるわけで、今後協会、大会に対して、町として補助金出す云々の絡みからも、その辺の予算を充足するような形で、町として進めるべきところではないのかなと思うところですけれども、いかがでしょうか。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

では、前田議員の質問にお答えさせていただきます。ちょっと言葉足らずなところがありまして、足柄上の交通安全協会から、昨年、かなり助成をいただきました。おっしゃるとおり、足柄上で、開成小学校と開成南小学校とワンツーフィニッシュをしているところですけれども、実際の問題、議員おっしゃられるとおり、優勝校1チームしか県大会に出られなかったという状況に変わってきていますので、その辺は自転車に限らず、交通安全を推進していく意味でも、その辺を今までどおりにしていただきたいとか、そのようなチャンスを広げるよう、町としても訴えていきたいと思います。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

前田議員。

○4番（前田せつよ）

その点、強くご要望をと思います。

また、先ほど課長のお話にあった前泊の件でございますが、聞くところによりますと、選手が4人と付き添いが3名から4名、合計8名前後の前泊者がいるということですので、そのことも含めまして、町としてできる限り充足な予算ということで、補助金も含めた中でご検討願えればと思います。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

先ほど太陽光発電システムの蓄電池、容量の数字、4.0キロワットという説明

をさせていただいたところですが、4.4キロワットの誤りでした。申しわけございませんでした。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑ございますか。

2番、山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。歳出の部分で、自転車安全事業費の部分でお聞きしたいのですが、先ほど課長答弁などを聞いていると、県からも補助が5万円とか、いろいろと言っていると思うのですが、これの会計区分、要は最終的にどこが責任を持って処理をして、報告をしているのかというのが見えてこないんですよ。実際問題、これは仮に県からの補助が入ってくるのであれば、今回の財源更生の中では、特定財源として入ってきて支出をするという形にはなると思うのですが、そこら辺のお金の流れと予算の流れがどういう流れになっていて、どういう報告をされているのかというのをお聞きしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

全体のかかる経費が26万8,000円ほど見えています。その中から既に神奈川県交通安全協会の補助金ということで、5万円が来ることが事前にわかっていますので、見積もった額から補助金の額を引いて、今回の21万9,000円という額でさせていただいております。その支出、補助金を出す先を、交通安全協会開成支部というのがございますので、そちらにまず補助金として通帳に振り込み、そこから使った経費を報告ということで、町からそれを報告できるようにしていきたいと考えております。

○議長（茅沼隆文）

町民サービス部長。

○町民サービス部長（石井護）

ちょっとわかりにくかったと思いますけれども、交通安全の開成支部、そこが収入して、支出をするという形になります。

例えば、今言った県の補助金というのが、議員もご存じのとおり、補助金もいろいろな方法がございますけれども、一旦町に入って、町を、俗に言うトンネルして支部に出すとか、あるいはダイレクトにとか、今回の場合には町を通さずに、その補助金というのはダイレクトに安全協会開成支部へいきますので、町の会計、財政の中には出てこないという形になります。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。ということは、安全協会が主となってやっているという理

解でいいのか。仮にそうであれば、単純に21万9,000円、安全協会に出すという説明になるということですね。そのところで宿泊費だとか、ユニフォーム代ですか、そういうものを考えているという感じでよろしいのか。再度確認したいと思います。

○議長（茅沼隆文）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

今、部長が説明して、山田議員がこう理解していいかというところで、交通安全協会開成支部に補助するものでございます。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。理解しました。ぜひとも全国大会ということなので、強力に開成町もバックアップして、応援していっていただきたいと思います。

それとあわせてなんですが、できれば全国大会へ行くので、開成町もアピールしていただきたい。お願いになりますけれども、よろしくお願ひします。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質疑がないようですので、討論に入ります。討論のある方はいらっしゃいます。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

討論もないようですので、採決に入ります。

それでは、議案第48号 平成27年度開成町一般会計補正予算（第2号）について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

着席ください。起立全員によって、可決いたしました。

これをもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。お疲れさまでした。

午前9時52分 散会